

※このしおりは奨学金申請後も大切に保管してください

大学・短大在学生のみなさんへ 2025.4

あしなが大学奨学金 (無利子貸与)

大学奨学生在学募集のしおり 【2025年度】

申込みできる方

大学または短期大学に在学していて、次にあてはまる学生。

保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡または保護者が1級から5級の障がい認定（注1）を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

（注1）次の障がい認定を受けている場合をいいます。

身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級

※日本国外の大学（その日本校を含む）は対象になりません。

※2000年（平成12年）4月2日以降に生まれた方が対象です。

募集人数

200人程度

申請のしめきり

2025年5月20日（消印有効）

奨学金の内容

△2023年度から制度内容が変わりました。よくご確認ください。

この奨学金は、**無利子貸与型**です。卒業の半年後から20年以内に返還していただきます。経済的事情などで返還困難であることが認められた場合は、返還を先に延ばすことができます。

1. 奨学金の金額（くわしくは4ページ）

- (1)一般 = 貸与月額 40,000円
(2)特別 = 貸与月額 50,000円

「あしなが MUFG 奨学基金理系・文系大学生支援制度」を利用すれば、貸与に加えて、給付月額 40,000円または10,000円が受け取れます（くわしくは4ページ）

2. 奨学金を受けられる期間

2025年4月分から卒業（最短修業年限）まで。第1回目の送金は2025年7月です。

3. 送金方法

3か月ごとに3か月分の奨学金を、奨学生本人名義のゆうちょ銀行の口座に送金します。

お問い合わせ・申請書類送付先

一般財団法人あしなが育英会 奨学課

<http://www.ashinaga.org>

〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

電話 0120-77-8565（フリーダイヤル・平日9時～16時）

FAX (03)3221-7676 メール shougaku@ashinaga.org



お問い合わせはこちら

申請から奨学生採用までの手続き

1. メールアドレスの登録

奨学金説明会と面接試験については、メールと特設サイトでご連絡します。右記のQRをスマートフォンで読み取ってメールアドレスを登録してください。登録後、自動返信メールが届きますので、メールに記載された申請コード（DZ で始まる英数字）を申請書に記入してください。説明会・面接試験の詳細がわかる特設サイトのURLも返信メールに記載されていますので、お問い合わせの前に必ず確認してください。



あしなが育英会からは、「shougaku@ashinaga.org」か「一般財団法人あしなが育英会（no-reply@harutaka.jp）」からメールを送ります。書類審査の段階でも、確認や不備の連絡などをする場合もあるので、あしなが育英会からメールが届いたらすぐに内容を確認してください。また、迷惑メールフォルダに入っていないか注意してください。
※no-reply@harutaka.jp のアドレスは送信専用のため、返信できません。

2. 「大学奨学生申請書」などの郵送（2025年5月20日消印有効）

「大学奨学生申請書」など必要な書類（詳しくは別紙）を、あしなが育英会奨学課宛てに郵送してください。在学している学校を通じて郵送することも可能です。また、申請書はコピーをして使用してもかまいません。あしなが育英会のホームページからダウンロードもできます。

3. 書類審査と説明会・面接試験（参加必須）

書類審査に通った人に対し、大学奨学金説明会と面接試験を行います。

書類審査の結果と説明会・面接試験の詳細は6月上旬に、メールと特設サイトにてお伝えします。

- ① 日程 2025年6月14日（土）、15日（日）のうち1日、9時から17時までの間
※説明会（全員参加必須）は9時から1時間半程度実施。その後17時までの間に個人面接を20分程度行います（個々で開始時間が異なります）。
※出席確認のため説明会参加者全員に顔と名前が画面に表示されます。不安な方は特設サイトで可能な対処法をご確認下さい。
- ② 方法 下記のとおりオンラインで実施（パソコンまたはスマートフォン等で参加）
説明会：Zoomを使用（1時間程度）
面接試験：harutaka というウェブ面接サービスを使用（20分程度の個人面接）
- ③ 事前準備 Zoomは出来るだけアプリをインストールして、慣れていない方は一度自分で使用してみてください。また、harutakaについては、メールの案内にしたがって、事前にフォームの回答と接続確認を行ってください。

4. 選考結果のお知らせ（2025年7月上旬）

申請者および在学大学長に郵送でお知らせします。

SMS（ショート・メッセージ・サービス）の取り扱いについて

申請された方に重要な情報を確実かつ迅速にお伝えするため、短いメッセージを携帯電話番号あてに送受信するサービス「SMS（ショート・メッセージ・サービス）」によるご連絡をする場合があります。表示される発信元は「0120778565」（docomo/au/楽天の場合）または「0032069000」（softbankの場合）となりますのでご承知おきください。

奨学金の交付から終了まで

1. 奨学金の送金

第1回目の奨学金の送金日は7月10日（土日祝日の場合はその前日）です。

2回目以降は8月、11月、2月、5月の10日（土日祝日の場合はその前日）です。

2. 奨学金返還誓約書の提出（2025年8月上旬まで）

奨学金返還誓約書を奨学生採用のお知らせと一緒に送りますので、期日までに提出してください。提出がない場合は、奨学金の交付が終了しますのでご注意ください。なお、奨学金返還誓約書には連帯保証人（1人）と親権者（2025年4月時点で18歳未満の場合）の記入が必要です。

3. 大学奨学生説明会（1回・7月・オンライン） ※パソコンまたはスマートフォン等で参加

奨学生として知っていただきたいことや、下記のつどいなどについてご紹介する説明会を、オンラインで開催します。奨学生採用のお知らせに、開催日を記載した案内を同封しますので、大学奨学生として採用された方はなるべくご参加ください。当日の参加がむずかしい場合は、後日動画で視聴できますが、当日は質問も受け付けますので、ぜひ当日の参加をお願いします。

4. 学業成績表・生活状況報告書の提出（毎年度末）、返還確認票の内容確認（交付終了時）

毎年度末には学業成績表で進級や成績の状況を確認します。学業成績表の提出依頼は本会から学校へ直接行い、学校より本会に直接提出いただきますのでご了承ください。留年や成績が著しく不良の場合は奨学金の交付が止まることがあります。

また、奨学生には毎年度末に生活状況報告書で一年間の学校生活について報告していただきます。生活状況報告書は、本会から奨学生に送付しますので、奨学生本人が提出してください。

定められた期日までに提出がないときは、奨学金の交付が止まることがあります。

なお、奨学金の交付が終了するときには、返還確認票と返還用の口座振替依頼書を送りますので、交付された奨学金の金額を確認して提出してください。

5. 大学奨学生との約束事項

大学奨学生には、特別な事情がない限り毎年春と秋に全国で行われる「あしなが学生募金」への参加を約束いただいています。また、ぜひお願いしたいこととして「大学奨学生のつどい」への参加と、「高校奨学生のつどい」でリーダー役になることの2つがあります。詳細については、説明会・面接試験で説明します。

6. 奨学金の終了

次のことがあったときには、奨学金の交付が終了します。

- ①満了：交付期間が終了したとき。
- ②退学：学校を退学したとき。
- ③辞退：奨学金を辞退したとき。
- ④廃止：学校処分等などにより奨学生として適当でないと判断されたとき。
- ⑤成績不良：原級留置や提出物未提出等で奨学金が2年連続停止になったとき。
- ⑥休学：休学期間が2年を超えるとき。
- ⑦死亡：奨学生本人が死亡したとき。

7. 奨学金の返還

退学などにより奨学生の資格を喪失しているにも関わらず、報告を怠るなどで奨学金を受け取った場合、その間の奨学金は即時返還していただきます。

なお、在籍中に交付された奨学金は、通常どおり20年以内に無利子で返還していただきます。

大学奨学金特別制度

経済的に特に困っている大学奨学生に対し、その者の申請により奨学金月額を50,000円とする「大学奨学金特別制度」があります。希望する・しないについて申請書裏側の記入欄に必ず〇印を付けてください。記入が無い場合は「2. 希望しない」になります。

あしなが MUFG 奨学基金 理系大学生支援制度および文系大学生支援制度

1. 理系大学生支援制度

2022年4月以降に4年制または6年制大学の理系学科に入学した本会大学奨学生に対して、「理系大学生支援金」として月額40,000円を給付します。

2. 文系大学生支援制度

2023年4月以降に4年制または6年制大学の理系以外の学科に入学した本会大学奨学生に対して、「文系大学生支援金」として月額10,000円を給付します。

制度を利用するには申請が必要です。くわしい案内は大学奨学生となった7月頃に送付する、奨学生採用のお知らせに同封します。

申請後、決定者には9月以降に4月分までさかのぼって送金します。

なお、「理系学科」については本会の専用ホームページで説明していますので、右記のQRから確認してください。

※この制度は株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループからのご寄付を原資としています

基金専用
サイト



奨学金の返還の方法

1. 返還の期間

返還は、卒業の半年後から開始し、20年以内に、年に1回払・半年に1回払・毎月払のいずれかの方法で返還していただきます。なお、卒業後も経済的事情などで返還が困難であることが認められた場合は、返還を一時的に停止し先に延ばすこと（猶予）ができます。

【奨学金返還の例】

月額4万円の奨学金を4年間利用した場合、貸与総額は192万円になります。

20年で返還するときは、毎月払で約8千円となります。

2. 奨学金の利息

無利子です。

3. 返還の免除

奨学生本人が死亡、または重度心身障がいを負うなどで奨学金の返還が不能になった場合は、全部または一部が免除されることがあります。

【個人情報の保護について】

申請時に取得した個人情報は、奨学金交付・返還業務のために利用されます。この目的の適正な範囲内において、いただいた情報は、学校・金融機関・業務委託先に必要に応じて提供されます

奨学生申請に必要な書類

1. 大学奨学生申請書（同封の用紙）

- ・「大学奨学生申請書の記入見本（表）（裏）」を参考にして、黒インクの消せないボールペンではっきりと記入してください。鉛筆書き、ゴム印は不可。
- ・署名欄は必ずそれぞれ該当の方本人が署名してください。

2. 在学証明書・大学奨学生推薦書 奨学金振込指定口座（同封の用紙）

- ・在学証明書・大学奨学生推薦書は、在籍校の学長または学部長の推薦を受けてください。必ず同封のあしなが育英会所定の書式を使い、記入を依頼してください。

3. 奨学金を送金する「ゆうちょ銀行の通帳コピー」

- ・同封の「ゆうちょ銀行口座記入の注意」の説明書のとおり、奨学金を送金する「ゆうちょ銀行の通帳コピー」を提出してください。通帳がない場合はキャッシュカードのコピーでもかまいません。

4. 奨学金申請にともなう誓約書（同封の用紙）

- ・「奨学金申請にともなう誓約書の記入見本」を参考にして、記入してください。

5. 所得証明書（原本のみ・源泉徴収票は不可） ※生活保護を受けている家庭を除く

- ・保護者（父と母2人と同一生計の場合は両方）の所得証明書を市区町村役場でとってください。
- ・保護者の収入がない場合は、所得額「0円」と記載がある所得証明書をとってください。
- ・所得証明書の発行は、市区町村役場の市区町村民税をあつかう課などで受けられます。
- ・申請する時に市区町村役場で発行される最新のものをとってください。
- ・所得額が記載されている場合は、課税（非課税）証明書でもかまいません。

6. 生活保護に関する証明書（2点） ※生活保護を受けている家庭のみ

6-1. 生活保護受給証明書（原本のみ。医療券のコピーは不可）

- ・生活保護受給証明書の発行は、市区町村役場または福祉事務所で受けられます。

6-2. 支給額がわかる書類（コピー可）

- ・生活保護費支払通知書や、生活保護変更決定通知書など、直近の支給額がわかるもの。

7. ^{こせきとうほん}戸籍謄本（原本・3ヶ月以内に発行のもの） あしなが高校奨学生は不要

※戸籍抄本や戸籍の附票ではありません

- ・保護者が亡くなっている場合は、死亡年月日が記載してあるかご確認ください。
- ・戸籍謄本は、市区町村役場の窓口でとってください（郵送でも発行手続きが可能です）。
- ・申請者や同一生計の家族が外国籍の場合は、戸籍謄本の代わりに住民票をとってください。
- ・保護者が障がい認定を受けている場合も家族全員記載の戸籍謄本を提出してください。
※戸籍謄本は保護者の死亡や申請者との親子関係を確認するうえで必要な書類ですので、提出にご理解ください。

8. 保護者の障がいに関する証明書 ※保護者が障がい認定を受けている家庭のみ

※必ず有効期限内のものを提出してください。期限が切れている場合は受け付けられません。

①次の場合は、都道府県知事等発行の障害者手帳または保健福祉手帳のコピー

- ・身体障害者福祉法による第1～5級の障害認定を受けている場合
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による第1～3級の障害認定を受けている場合

②次の場合は、障害等級が明記してある年金裁定通知書または障害年金証書のコピー

- ・国民年金法による障害基礎年金を受けている場合
- ・厚生年金保険法による障害厚生基礎年金を受けている場合
- ・労働者災害補償保険法等による第1～5級の障害補償年金を受けている場合

①と②両方にあてはまる場合は、等級が上の方（同じ場合は障害者手帳）のコピー

＜一度提出された書類はどのような理由があっても返却できません＞

Q & A (よくあるご質問)

Q 年齢の制限はありますか。

A. 2000年（平成12年）4月2日以降に生まれた方が対象となります。

Q 他の奨学金と一緒に利用できますか。

A. あしなが育英会は、他の奨学金との併用が可能です。
併用したい制度にも、あしなが育英会との併用が可能か確認してください。

Q 所得証明書や戸籍謄本はコンビニエンスストアで取得したものでいいですか。

A. はい。問題ありません。所得証明書（もしくは課税証明書）の場合、所得金額が記載されているかご確認ください。戸籍謄本については、戸籍抄本や戸籍の附票の写しと間違わないようご注意ください。

Q 連帯保証人は必要ですか。また、連帯保証人は親以外の親戚でないといけませんか。

A. 連帯保証人は一人必要で、父もしくは母でかまいません。年齢や職業の有無の条件はありません（未成年は除く）。奨学生採用のお知らせ（7月上旬）に同封する奨学金返還誓約書にご記入ください。

Q 両親が離婚したあと、親権を持っていない方の親が亡くなりました。奨学金は申請できますか。

A. 離婚後も養育費を受け取っていたり、連絡を取り合ったりなど、親子の関係が続いていた場合は、申請できます。
申請書の家庭状況を記入する欄などに、どのように親子関係が続いていたかを記入してください。
（例：養育費の援助が数回あった。年に何回か面会していた。など）
なお、親権を持っていない親が障がい認定を受けている場合も同様です。

Q 父母がいません。誰を保護者の欄に書けばいいですか。

A. 実際に申請者を養育している方、奨学金の手続きを行っている方でかまいません。
同居別居も問いません。祖父母や成人した兄姉、おじ・おばも可能です。

Q 一つの学校、一つの家庭から何人申請できますか。

A. いずれも何人でも申請できます。
きょうだいで同時に申請する場合、戸籍謄本と所得証明書と障がいに関する証明書は、一通でけっこうです。

Q 説明会・面接の日程は都合が悪く参加できません。別の日はないですか。

A. 説明会・面接の別日は設けていません。指定された説明会・面接日に必ず参加してください。
参加しないと申請辞退扱いとなります。

ゆうちょ銀行口座について

- 奨学金を送金する口座は、申請者本人名義のゆうちょ銀行の口座です。
- 10年以上入出金や通帳記帳をしていない口座(休眠口座)や、送金機能のない口座、通常貯金口座以外(通常貯蓄口座など ※)には送金できません。ゆうちょ銀行の窓口にご相談ください。
※通常貯蓄口座でも、総合口座の申込みをしている口座なら送金可能です。一括送金が受け取れるかどうかなど、詳しくはゆうちょ銀行に相談してください。

奨学金振込指定口座の記入について

- 奨学金を送金するゆうちょ銀行通帳の以下のページをコピーして提出してください。
白黒コピーで結構です。コピーのサイズは可能な限り A4 判をお願いします。
- 通帳がない場合はキャッシュカードのコピーでもかまいません。
- 「記号」(5ケタ)と「番号」(最大8ケタ)を「奨学金振込指定口座」に記入してください。

【例】

記 号		番 号			
おなまえ _____ 様					
おところ (郵便番号 _____)					
株式会社 ゆうちょ銀行 (金融機関コード：9900)					
通帳とお届け印とは、別々に保管してください。				通帳作成地 東京都千代田区霞が関1-3-2 株式会社ゆうちょ銀行	
[通帳・カードを「盗難」または「紛失」された場合は、すぐにカード紛失センターまたはお近くのゆうちょ銀行・郵便局へご連絡ください。盗難・紛失された通帳・カードでのお取引を停止します]				カード紛失センター 0120-794889	
ご利用欄	振替口座開設(送金機能) 				
	キャッシュサービス	代理人カード	デビットサービス	個	
銀行使用欄	定額定期自動貸付け 回債等自動貸付け				
	「奨学金振込指定口座」に記入する口座は下記のものではありません。 _____ 上のページの番号です。				
この口座を他金融機関からの振込の受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください					
【店名】 _____ (読み _____)					
【店番】 _____ 【預金種目】 普通預金 【口座番号】 _____					